

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業	事務事業No.	20602000022	所属課	高齢福祉課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年4月介護保険法改正に伴い、特定高齢者を早期に発見し介護予防を図るために、特定高齢者の把握体制を整備することが必要となった為、平成20年度より健康推進課が主体となって実施している住民健診に合わせて生活機能評価を実施していた。平成23年度より地域支援事業実施要綱の一部改正に伴い事業名が「二次予防事業」と変更され事業内容の改正され、基本チェックリスト25項目の問診のみでの介護状態になるリスクが高い対象者把握が可能となった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 基本チェックリストの記入方法やチェックリストの結果内容を教えてほしいとの質問が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	身体の機能低下がみられる二次予防事業対象者は、介護予防への意識も低下していることが多く、介護予防に取り組むことが高齢者の福祉サービス充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域支援事業実施要項に定めてれている事業であり、要支援・要介護状態に陥るリスクが高い高齢者を早期に把握し、介護予防に繋げることで、要介護認定率の抑制に繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	基本チェックリストを送付することで、より多くの二次予防対象者を選定している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input type="checkbox"/> 影響無	地域包括支援センターの総合相談支援業務において、介護リスクの高い人の相談に応じ介護予防活動に繋げることができるため、影響は無い。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的な手段、事務事業名 介護予防把握事業 介護保険法改正により、平成29年4月より開始する総合事業において、介護予防把握事業として、民生委員等や地域包括支援センター、関係機関との連携により介護リスクの高い人を把握することになる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある	基本チェックリストの送付せず、民生委員等の情報提供から介護リスクの高い人を把握することで、事業費を削減することができる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	介護認定者を除く、70歳以上80歳未満の高齢者を対象としており、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	二次予防対象者を選定するために、70歳から79歳の要介護認定等を受けていない方に基本チェックリストを配布し、回収する手法を用いたが、把握した人数は高齢者人口の5.0%にとどまり、費用対効果が低かった。介護保険法改正に伴い、民生委員や在宅介護支援センター等関連機関からの高齢者の情報を基に把握する等、効果的な把握方法を検討していく。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上				維持				低下			
成果	向上													
	維持													
	低下													
(6) 事務事業優先度評価結果														
成果優先度評価結果	-													
コスト削減優先度評価結果	-													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 介護保険制度改正に伴ない廃止とした。今後は、新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)のなかで新たに類似の事業を実施していく。